

「光マンダラ」輝く 光のまち阿南、東京都内でPR

阿南市のイベント「光マンダラXmas」で使われた発光ダイオード（LED）による光のドームやオブジェが、十二日夜から東京都内の東京ドームシティで始まった冬のイルミネーションイベントに登場した。点灯は来年二月十四日まで続けられる。

同シティ内にある複合施設「ラクーア」に、高さ十メートルの光のドーム一基のほか、高さ六メートルのステラ（星）や三角すいなどの大型オブジェ六基が展示され、点灯の瞬間には、約二十五万個のLEDが放つ幻想的な光に、会場から大きな歓声が上がった。



点灯式には、岩浅嘉仁阿南市長や平尾勲雄・阿南光のまちづくり協議会長、同市出身のプロ野球巨人軍元投手の水野雄仁さんらが出席。岩浅市長が「『光のまち阿南』を全国に発信する絶好の機会。これから三カ月間、光の情緒を楽しんでいただきたい」とあいさつした。今回の催しは、阿南市橘町で昨冬に開かれた「光マンダラXmas」を雑誌で知った東京ドームラクーア部の担当者が、同協議会に貸し出しを打診したことで実現した。

【写真説明】東京の夜空に浮かび上がった阿南の「光マンダラドーム」
＝東京・文京区の東京ドームシティ